

1. 目的

NISCでは、CYMAT要員及び研修員を対象に、緊急対応に備えるべく、平時において、情報セキュリティ等に関する実践的な知識の取得やインシデント発生を想定した研修・訓練を実施し、サイバーインシデントが発生し、CYMATの出動を求められた際に迅速に対応できるよう、態勢の整備を行う。

2. 内容

研修・訓練を通じてCYMAT要員等に習得を求める内容は、大別すると以下の3点である。

- (1) 情報セキュリティ等に関する知識の習得
- (2) インシデントの具体的事例の習得
- (3) インシデント発生時における対処方法の習得

具体的には、以下の内容に関する研修・訓練を今後、実施していく予定。

- 情報セキュリティに係る現況(最新の脅威及び対策の動向など)
- 情報セキュリティ関連法令、基準、契約等
- 具体的な情報セキュリティインシデント事例(ケーススタディを通じ、攻撃発生時に把握すべき事項、原因の究明方法等を学習)
- 情報セキュリティに関する基本的な技術
- 広報・報道対応

等

CYMAT活動として実施する研修・訓練について

3. 今後の予定

CYMAT発足後、当面は以下の方法により、CYMAT要員等への研修・訓練を実施していく予定。

(1)NISCにおける座学講習(月に1~2回)

情報セキュリティの現況、関連法令等、広報・報道対応等について、学識経験者や関係省庁担当者、インシデント対応の専門家を講師に招き講義を行う。

(2)演習(本年秋を予定)

関係省庁の協力を得て、3日程度の演習を実施。実際に発生したセキュリティインシデント事例を参考にロールプレイ等を行う。(警察大学校附属警察情報通信学校等を活用)

(3)CYMAT要員による自習(希望者のみ)

情報セキュリティに関する基本的な技術については、希望者に対し、それぞれの知識レベルに応じた自習用教材を提供。知識の習得度については、定期的に到達度の確認を実施。

このほか、国内外の専門家による講演、関連施設等の見学、国内の情報セキュリティフォーラムへの参加等を企画。

また、特に優秀な者、成長が見込める者については、内外の情報セキュリティ関連養成コースへの受講機会や、国際的なCSIRTコミュニティへの参加機会を提供する予定。